

## 特定整備路線の整備について

- ◆木密地域の防災性向上を図る都市計画道路（特定整備路線）[都内で28区間・約25km]
- ◆きめ細やかな生活再建支援を実施し、2025年度の全線整備を目指す

### 特定整備路線を整備すると・・・

- 延焼遮断帯が形成され、大規模な市街地火災を防ぐことができます。
- 震災時の安全な避難路が確保されます。
- 緊急車両等の通行路が確保され、**救助・救護活動が円滑**に行われます。



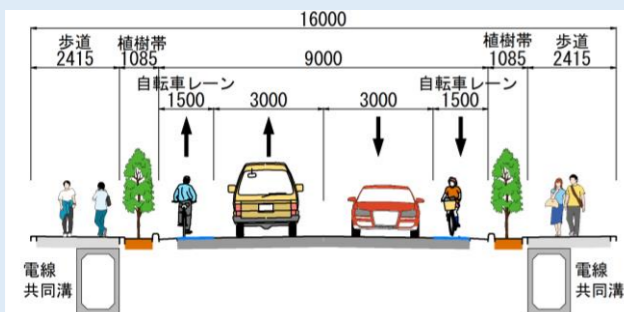
## 路線の概要

※令和2年度末時点

	補助172号線（長崎）	補助第26号線（南長崎）
事業延長	約1,620m	約320m
事業期間	平成27年度～令和7年度末 (当初：令和3年度末)	平成26年度～令和6年度末 (当初：令和2年度末)
用地取得率※	約59%	約73%

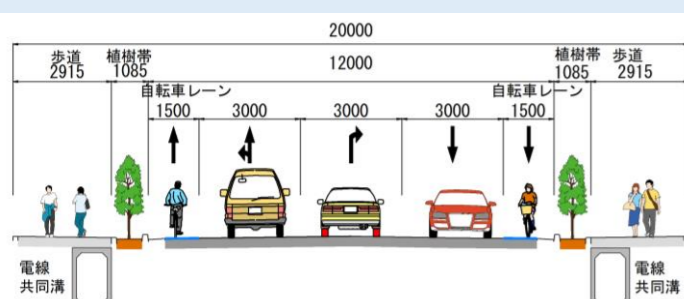
### 補助第172号線（長崎）

#### 【一般部】



### 補助第26号線（南長崎）

#### 【付加車線部】



### (参考) 整備イメージ

#### ■自転車レーン（補助第230号線）



#### ■電線共同溝



## 道路整備計画（案）について

### ◆横断歩道の設置箇所について

○現地状況や交通管理者との協議を行い、適用する基準※を踏まえ、下記の考え方で設置箇所を計画

(※「信号機設置の指針」警察庁)

#### 【設置箇所の考え方】

- ・現状で横断歩道が設置している箇所は、**現況機能を確保**
- ・「よく使う道路」や「通学路」と交差する箇所について、**新たに横断設置**（横断箇所が近接する場合は集約）

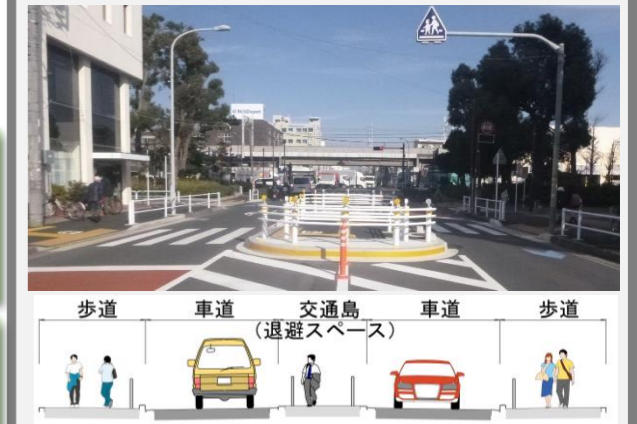
#### 【横断歩道形式の考え方】

- ・適用基準※に基づき「信号機付き横断歩道」を設置
- ・「信号機付き横断歩道」と近い箇所では、「無信号2段階横断歩道」を設置

○車道中央部に横断歩行者が待機できる交通島を設置し、その前後で2回に分けて横断する方式（右記参照）

### (参考) 整備イメージ

#### ■無信号2段階横断歩道（板橋区道）



#### 【2段階横断歩道のメリット】

- 横断距離の短縮（1車線毎に横断）
- 安全確認の負担軽減（片側だけ重点確認）
- 通行車両の速度抑制 等

### 現況



### 計画（裏面参照）



## 今後の工事予定について

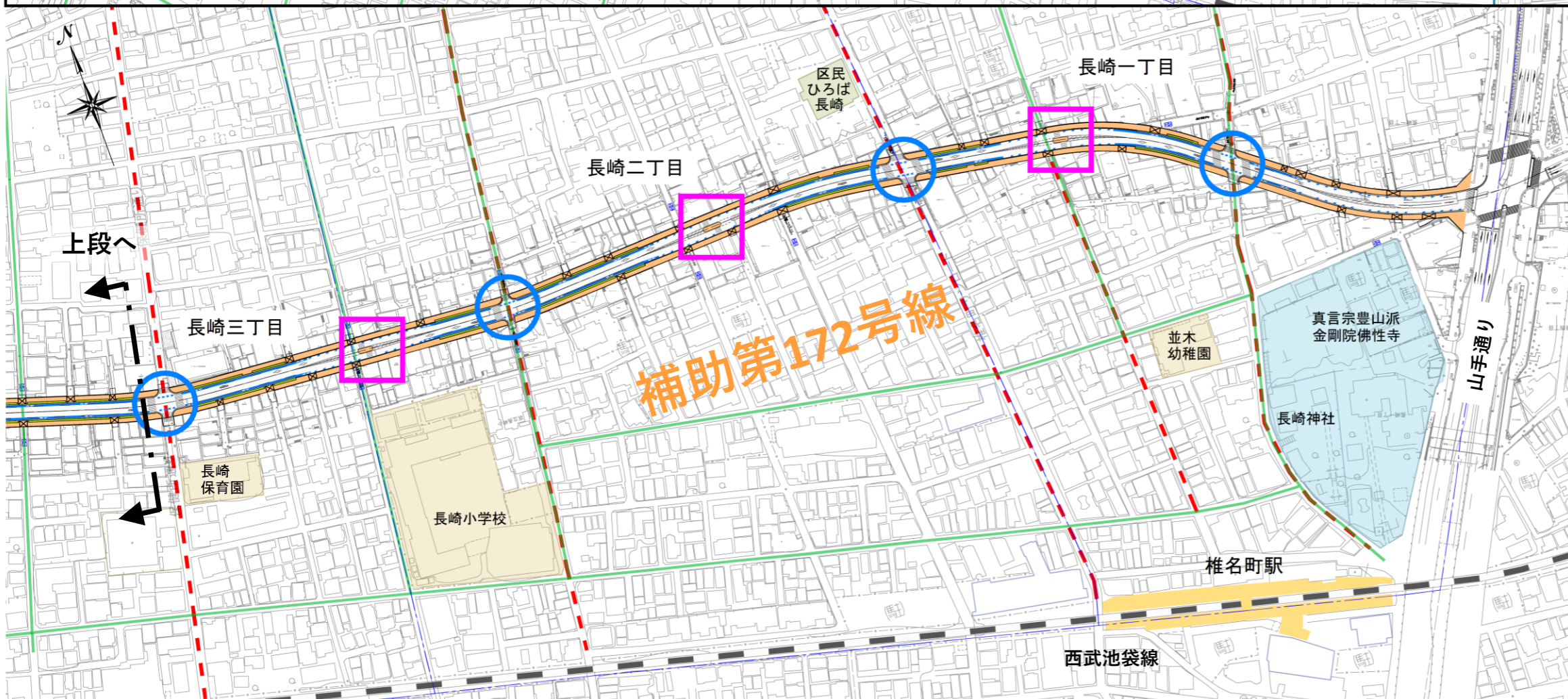
- ・「現道が無く、新たに道路を整備する区間」や「交差点付近」「鉄道交差点付近」について、優先的に工事着手
- ・連続して用地取得が完了した区間について、交通安全性等を踏まえ仮設歩道整備を検討

<お問合せ先> 〒170-0005 豊島区南大塚2-36-2  
東京都第四建設事務所  
工事第一課（木密設計担当）笠原・中野  
電話番号：03-5978-1806  
アドレス：S0200200@section.metro.tokyo.jp

◆四建ホームページ（※こちらからダウンロード可能です）  
<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/yonken/index.html>  
⇒「東京都 四建」で検索



# 道路整備計画 (案)



凡例

○	信号機付き横断歩道	
	or	
□	無信号2段階横断歩道	
■	歩道	
■	自転車レーン	
■	植樹帯	
---	町丁界	
---	よく使う道路	
---	通学路	

0m 50m 100m